

令和7年3月3日

保護者のみなさま

吹田市立吹田第一小学校  
校長 津田 一司

## 令和6年度 学校教育自己診断の結果のお知らせ

昨年末に児童をはじめ保護者のみなさま方にご協力いただいた「学校教育自己診断」(学校アンケート)の結果をまとめました。この調査は毎年ほぼ同じ項目で実施しており、学校教育の活性化や改善の資料とさせていただきます。

### ～1・2年の児童のアンケートより～

「授業について」の項目が向上していました。

「授業はわかりやすいですか」「授業でわからないことがあったら、先生に質問できますか」の項目が向上しています。

『一人ひとりが生き生きと学び、互いにつながり合うことで考えを深める授業』を本校の研究のテーマとし、基礎学力の定着に努めています。教職員がチーム別に日々研修を実施したり、毎年6年生で実施する全国学力学習状況調査や5・6年生の小学生すくすくウオッチの結果を分析し、本校児童の強みや課題を把握したりすることも結果につながっています。

「困ったことがあったら先生に相談しますか」については、肯定的な回答が90%を上回っています。学校生活の大半は授業時間です。教職員との良好な関係が「授業のわかりやすさ」や「授業中に先生に質問ができること」にも良い影響を与えていると考えます。

### ～3年から6年までの児童のアンケートより～

「先生や友だちは自分のよいところをみとめてくれる」の項目は年々少しずつ高まりを見せています。

学校では、教科指導だけではなく、学校行事やたてわり活動、委員会など学校生活全体を通して、子供たちの自己肯定感・自己有用感を育み、学校生活を楽しく過ごすことを目標に教育活動を行っています。

子供たちは家庭でも学校でも、小さな挑戦をくり返すことで成長していきます。たとえ失敗しても、挑戦したこと、がんばったことをほめることが安心感を生み、自己肯定感の高まりやチャレンジ精神を生み出すことにつながります。学校・家庭・地域が一体となって自己肯定感・自己有用感を育めるように、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。



## ～保護者のみなさまのアンケートより～

今年度はすべての項目で肯定的評価が85%以上となりました。特に90%以上の高い評価の項目は、以下の通りです。

- 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。
- 学校から家庭への連絡は学校だより、ホームページ、メール配信などを通じて適切に行われている。
- 学校では、子どもに関する個人情報を守られている。
- 運動会や音楽会、校外学習や宿泊学習などの学校行事は、児童が楽しく参加できるように工夫されている。
- 学校は、避難訓練などの安全対策に力を入れている。
- 地震や台風などの場合の対応方法が、児童や保護者に知らされている。
- 学校は、学習環境面で施設・設備を整えようとしている。
- 学校は、子どもに生命を大切にす心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。

## ～保護者のみなさまからのご意見より～

今年度も、保護者の方々から貴重なご意見をいただきました。これらのご意見は、すべての教職員が目を通し、今後の教育活動に役立ててまいります。ここでは紙面の都合上、主なご意見に対してお答えします。

### Q 学校と保護者間の連絡・情報発信について

○学級閉鎖などの連絡は全学年にしてほしい。

○学校の電話は8時～17時までしかつながらず、フルタイムで働いていると聞きたいことがあっても、電話できず聞けない。電話受付をしないのであれば、メールで問い合わせできるような仕組みを作してほしい。

○ふだんの写真や動画が見れるとうれしい。

A 兄弟関係・学童を考慮すると、保護者の方には学校全体での感染状況を知っていただくことで、感染拡大の未然防止につながると考えます。今後、学級閉鎖などの連絡は全学年にさくら連絡網でメール配信するようにいたします。

A 教職員の勤務時間は8時30分から17時までとなっています。また、教職員の働き方改革の一環として、電話対応時間【8時～17時】も市内小中学校で統一されています。ご不便をおかけしますが、それ以外は連絡帳や時間内の電話でのご対応をお願いいたします。

A 日常の様子については、ブログを学校 HP に掲載しています。動画については、校内音楽会の様子を見童が振り返ることができるように、学年ごとに配信するなどしています。個人情報保護の観点や児童の学習活動中に教職員が写真を撮ることは難しいことから、定期的な配信が困難な状況があります。ご理解のほど、よろしく願いいたします。

## Q アンケート提出について

○無記名の提出でもいいのでは。

A 保護者のみなさまからの貴重なご意見に対して、不明瞭なことがあった際に意図をお伺いすることで、十分に学校教育に反映できるように記名式にしています。

## Q 教育設備・施設について

○1年の時からずっと毎日タブレットを持ち帰っているが、家で使うといえば、アプリでゲームをするくらいで、学習のために使っている姿をみたことがない。タブレット1台のせいでランドセルが異常に重くなり、毎日持ち帰ることに疑問を感じている。もっと家での勉強に活用するようにする、もしくは持ち帰らず学校で充電できるようにする、などしてほしい。タブレットのカバーが重いのであれば、変更してほしいとも思う。

A 本校では国や市の指針を踏まえ、日常的にタブレット(iPad)を持ち帰り、積極的に活用しています。また、学年ごとに系統立てた指導計画を設け、6年間を通して、タブレットを効果的に使えるように指導しています。タブレットカバーの重さについては、ご要望を市教育委員会に伝えていきます。

## Q 学校体制について

○よく学校行事に行くが、先生方がとても一生懸命に仕事をされている。小学校に13年間子供を通わせたが、年々先生の仕事量が増えている気がする。一生懸命さは変わらないけど仕事量が増えて大変そうなのが伝わった。子供の笑顔のため先生も余裕ある仕事量だったらいいのにな・・・と思う。大変な時期に良い教育をしてくださり感謝している。

○1学年1クラスはやめてあげてほしい。教師に資質があっても、日々の業務に追われ本領発揮できない。子ども一人に対する目の行き届き方に2クラス以上と差が出ると思う。先生も子どももかわいそう。

A 教職員の業務内容は年々増加していることが国の教員勤務実態調査からも明らかになっており、吹田市教育委員会も国の指針に基づき、教職員の働き方改革の促進に力を入れています。

本校においては、年間授業時数の削減や吹一タイムの設定などを行い、教育課程を見直し、再編成しています。働き方改革が教育の質を向上させ、子供たちのよりよい教育活動につながるように今後も取組みを進めてまいります。

A 教職員定数は条例に基づき算出されるため、その中で学校体制を整える必要があります。

学級数に限らず、一人ひとりの子供たちのために豊かな教育活動を行えるように学校全体で取り組みます。

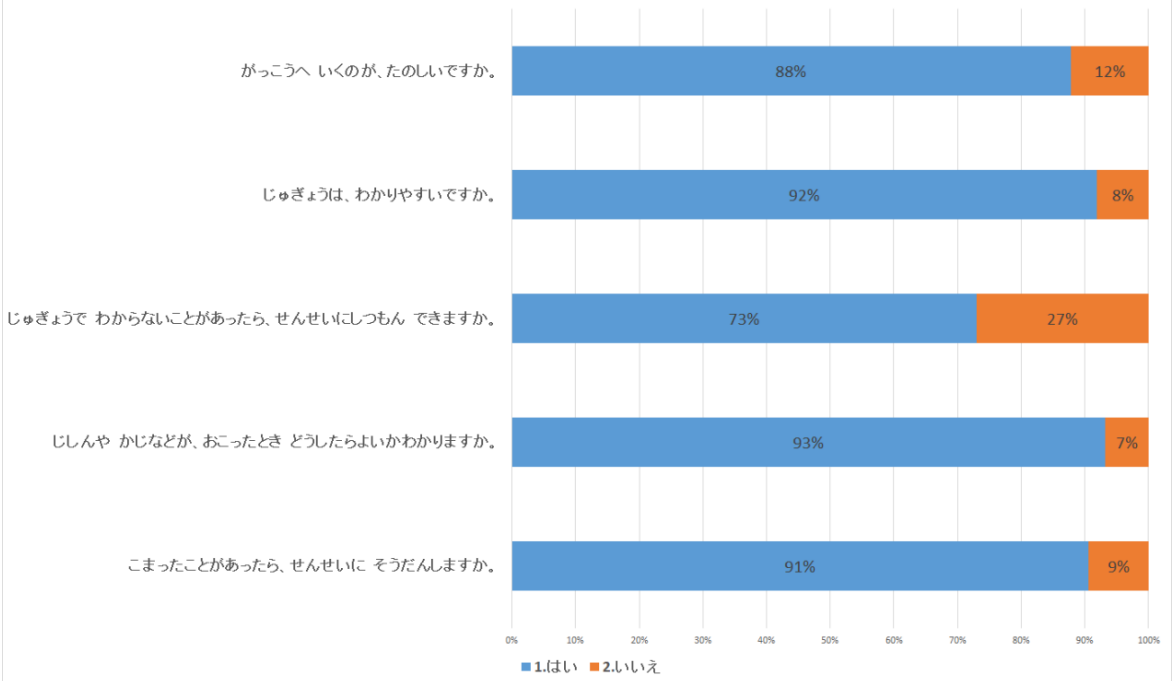
ご意見は真摯に受け止め、今後の教育活動の参考にさせていただきます。

また、教職員に温かいご意見を多数いただき、ありがとうございました。

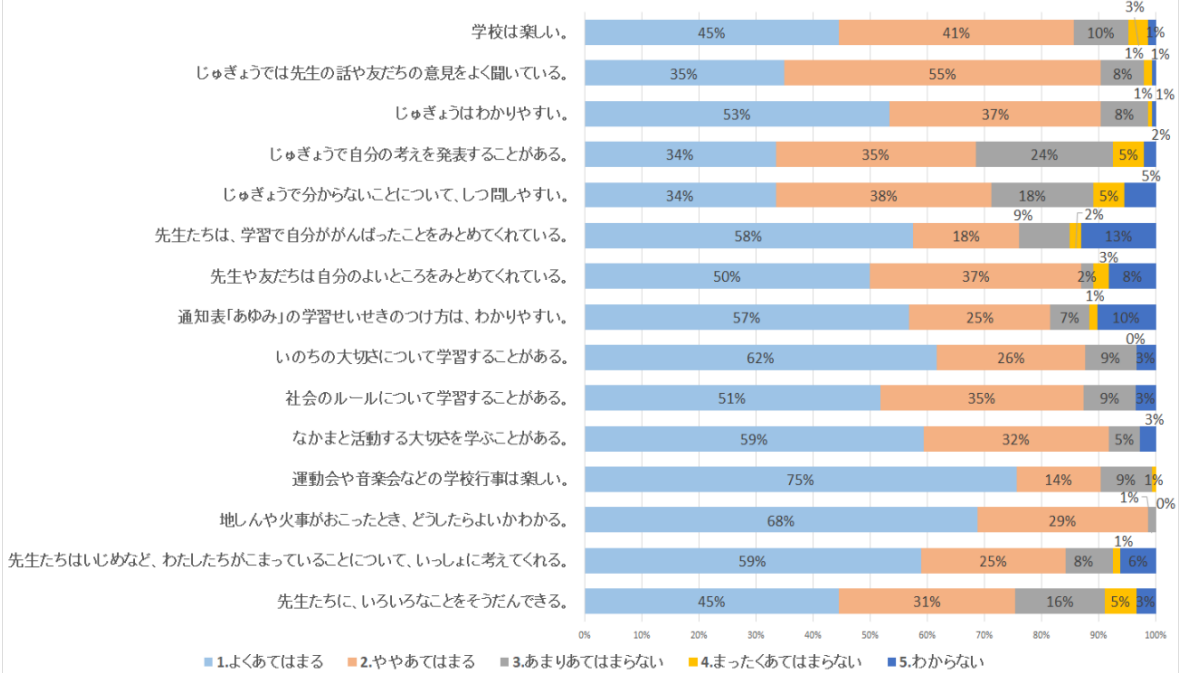
教職員一同、なお一層、努力を継続していく所存です。研修の充実や普段の教育活動における切磋琢磨を大切に、学校全体として教員の指導力向上に努めてまいります。本校教育活動の推進に今後ともご理解ご協力をお願いいたします。



### 1, 2年児童



### 3, 4, 5, 6年児童



### 保護者

